



# 城西国際大学水田記念図書館

Vol.74



## 図書館だより



〒283-8555 千葉県東金市求名 1 番地 Tel : 0475-55-8812 Fax : 0475-55-3265  
URL : <https://library.jiu.ac.jp> Mail : [library@jiu.ac.jp](mailto:library@jiu.ac.jp)



### 英国での図書館の思い出

メディア学部 大江 宏子

オックスフォード大学で最も古い図書館であるボドリアン図書館は、私の心の中に特別な位置を占めています。1602年に設立され、その蔵書は絶えず増加し、現在では1300万冊以上の書籍や資料を収蔵しています。この図書館は単なる書籍の保管庫にとどまらず、情報の宝庫であり、学生の学びの場であり、コミュニケーションのハブであり、智慧の伝承の場でもあります。

初めてボドリアン図書館を訪れたのは、ロンドン大学LSEの修士課程の学生だった時のことでした。その壮麗さと歴史に圧倒されました。美しいゴシック建築、天井の繊細なフレスコ画、そして古書の独特の香りにより、中世にタイムスリップしたかのような感覚に陥りました。この図書館の歴史的価値は計り知れず、オックスフォード大学の誇りであり、世界中の学者にとって貴重な資源です。

その蔵書に目を向けると、人類の知識と智慧の広大な宝庫であることがわかります。哲学、文学、科学、歴史など、あらゆる分野の書籍が収蔵されており、学問の進展に不可欠な情報を提供しています。例えば、ボドリアン図書館はシェイクスピアのファーストフォリオを所蔵しており、文学研究に欠かせない資産です。これらの書籍を手にとると、偉大な学者たちと対話しているかのような感覚になり、学ぶことへの情熱が掻き立てられたものです。

また、図書館は学生にとっての学びの場として重要な役割を果たしています。静かな閲覧室では、多くの学生が熱心に勉学に励んでおり、学問の追求の本質を体現しています。私も試験前にはしばしばボドリアン図書館を訪れ、勉強することよりも、むしろ、その気迫や伝統の重み、アカデミアに連なる者としての感覚をつかむために、その場に身を置いたものです。この場所の静けさと厳粛な雰囲気は、私の学問的努力や意識を高めてくれました。

さらに、図書館はコミュニケーションのハブとしても機能しています。閲覧室や休憩エリアでは、学生がアイデアを交換し、知識を共有する姿が見られます。図書館で多くの友人と出会い、共に勉強し、深い議論を交わしたことも良き思い出です。図書館の静かな環境での会話は、より深い理解と洞察をもたらし、時間の流れも緩やかで、私の学問的視野を広げてくれたように感じます。

図書館は智慧の伝承の場でもあります。保存されている古代の写本や歴史的な文書は、過去の智慧を現代に伝える役割を果たしています。これらの貴重な資料と触れ合うことで、私は歴史の重みを感じ、人類の知識の継続性を実感しました。特にボドリアン図書館の特別コレクションには、中世の写本やルネサンス期の稀覯書が含まれており、過去の学問と文化の豊かさを伝えています。

その豊富な蔵書と歴史的価値、そしてそこで体感した時間は、私の研究者としての心構えの基盤を形成しました。当時、小職は、英国政府の給付学生という立場であり、また、現役の日本政府の官僚としての立場からも、この図書館という場に身を置いて、その後の行く末に知恵を巡らし、時間軸に身を置き内省することの重要性を感じました。そこでの経験は、私の人生、哲学、そして思考方法に深く影響を与えています。

オックスフォード大学のボドリアン図書館は、単なる図書館の定義を超えています。それは、知識の輝かしい宝庫であり、学者にとっての神聖なる学びの聖域であり、知的交流の活気ある中心であり、智慧の伝承の永遠の器です。この神聖なるホールで得た経験と洞察は、私の魂に深く刻まれ、未来への道を照らし、導いてくれる、そんな思いを抱かせてくれる英国時代の思い出です。